

コスズメガヤ (小雀茅)

名前の意味^{いみ}：小さなスズメガヤの意味。雀^{すずめ}という言葉は、雀^{すずめ}が使うほど小さいということの意味する。

分類：単子葉類、イネ科、スズメガヤ属

(イネ科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、空き地

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：ユーラシア原産

特徴：スズメノカタビラのように、葉が細い、薄緑^{うすみどり}色の小さな小穂

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：2枚 (小さくて目で見てもよくわからない)、離弁^{りべん} (花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：7 - 10月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：スズメノカタビラは、小穂が大きく、緑色。カゼクサは全体が大きく、小穂は紫^{むらさき}色。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★★★

総合難易度 ★★★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)